

戻った!!宇宙ブーメラン

土井さん実験 無重力でも手元に

国際宇宙ステーション (ISS)に滞在中の土井隆雄さん(53)が、ブーメラン世界チャンピオンの梅井靖弘さん(36)に大阪府大阪狭山市から贈られたブーメランをISS内で投げる非公式の実験をした。ISS内には地上なみの大気圧があるが、無重力状態だ。日本の宇宙航空研究開発機構(JAXA)に入った連絡によると、土井さんが縦に投げたブーメランはちゃんと元に戻ってきたという。

梅井さんは大の宇宙好きで「重力がなかったらブーメランはどう飛ぶのだろう」との疑問をもち続けてきた。06年7月、北海道で開催されたブーメラン世界大会で優勝。同年初、知り合いを介して土井さんに会い、宇宙でのブーメラン実験を持ちかけ、快諾を得た。JAXA経由で、手づくりした直径20センチと13センチの3枚翼の紙ブーメラン計10個を贈ると、土井さんから「カッコいいデザインのブーメランをありがとう」とのメールが返ってきたという。

り、揚力を生む。土井さんが日本時間で18日夕の自由時間に投げたブーメランは、揚力でカーブを描いて戻ってきたようだ。梅井さんは「詳しい状況を知りたいが、宇宙でもブーメランが戻ってくるのがわかって大変にうれしい」。

(久保田裕)



ブーメランを託し、実験を頼んだ梅井靖弘さん=大阪狭山市で、南部泰博撮影



ISSでブーメランを手にする土井隆雄さん=米航空宇宙局、宇宙機構提供